

チャレンジ」の形で調べることにした。このことを後半の学習の中心におき、生徒たちの発表に教師の報告もリンクさせながら、現在の日本との関わりを、物だけでなく人々の交流の形で伝えた。JICAやNGOの人々の活動への思いを感じることで、同じ日本人の「思い」の中に、国際理解の大切さや「共生」社会の意味、また一人一人が地域にできることを考える機会をもてればとの願いがあった。

これらの配慮と展開で全体としては学習の目的に

迫れたと感じている。しかし生徒の感想には「協力の活動に感心する』にとどまるもの、『ボランティアの人の活躍に期待する』趣旨のものもあり、学習の深まりが十分でない子ども達もいることを反省する。学習を進める過程では、このように理解の程度が異なる生徒への支援の必要性和、今回は計画しなかったが、学習に継続性を持たせる展開を検討することの重要性を感じている。

参考資料

- 地球の歩き方フィリピン
- フィリピン 長期滞在者のための最新情報
- 観光コースでないフィリピン
- フィリピン ハロハロ社会の不思議を解く
- マニラ生活案内 くだもの編、野菜編
- ダイヤモンド社
- 三修社
- 高文社
- トラベルジャパン
- Filipica Office 編集

資料 5時間
1 発表資料の例

「総合的な学習の時間」国際理解—南の国のフルーツから 7/1/08

調べた内容をまとめていこう

(衣) 必ず毎日着替える→毎日、山のように洗濯！
 ・他人の女子みにより自由なスタイルを尊重
 ・月曜が少々緩びたりしていても、
 着たものを洗うという習慣はそれほどない
 洗濯道具は家庭にない！
 常に自分の課題を意識して調べよう
 課題「フィリピンの常識」

(食) 食文化は中国の影響を受けている
 →野菜、炒飯、パスタ、ピザ、中華めいなど
 スパイシーな食べ物は苦手な人が多い(日本の中華カレー程度)
 ①は食べたが食事は食べない気が済まない。(ファストフード店にも)
 ②ヤ系結婚式などのお祝い事には(縁起)を担いで麺類を食べる。有)
 「いただきます」→なし! →「食べましょう」と言ってみな揃って食事。
 ごちそうさま。

(住) きれいで好きでよく掃除をする。
 ☆ 中国文化の影響で(風)などの窓枠や屏を気にする
 ☆ シOWERは体を洗って洗面器で髪をかぶるだけ
 夫婦は1つのベッドで寝るのが基本。

(Fの代) フィリピン人の90%以上がクリスチャン
 ・TV女子
 ・プライドが高い
 ・迷信や言い伝えなどを信じている人が驚くほど多い!
 ↓
 馬鹿にしたリからかては×
 せめて軽く聞き流す。

フィリピン Philippines



8~9時限

2 交流会での記録

「総合的な学習の時間」国際理解—南の国のフルーツから

7/16/08

7/16日 交流会 講師の先生 Imelda Nagao さん

Imelda Nagao さんの自己紹介

7107万の島 高島のたんじ(ハノイ)

時差は1時間

国旗...青、白、黄、赤

木、ゆき 日、平等

太陽、自由

Q&A(交流タイム)

質問者	内容	あたらしい発見
Iさん	パロットは、卵をいれ入るときに食べる？	いつも卵をいれ入れている。生で食べる。日本でも買える。パロットは卵に食べる。
	卵は、卵をパロットと卵に食べないパロットで卵を食べるの？	卵は、卵を食べている。卵を食べないパロットは卵を食べない。
Kさん	人気のフルーツは？	バナナが一番食べる種類は100以上ある。卵を食べるバナナがある。バナナはバナナ。
Sさん	教育は？	公立教育は小学校だけ。中学は公立。高校は4年間ある。
Tくん	クリスマスに子供は、卵を食べる？	クリスマスは、卵を食べる。クリスマスは、卵を食べる。クリスマスは、卵を食べる。
Fさん	休日にはなにを食べる？	休日には、教会に行く。エッグを見える。子供は卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Yさん	エッグを食べる？	エッグを食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。

Q&A(交流タイム)

質問者	内容	あたらしい発見
Mさん	どうして卵を食べる？	卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Nくん	卵の料理は？	卵の料理は、卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Oくん	卵を食べる？	卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Oくん	卵を食べる？	卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
あたし	人気なスポーツ	バスケットボール。サッカーもあるけど、人気なスポーツ。
Uさん	この島は？	この島は、卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Wさん	クリスマスは、卵を食べる？	クリスマスは、卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Yさん	フルーツの中で、一番おいしい？	フルーツの中で、一番おいしいのは、卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。
Cさん	クリスマスは、卵を食べる？	クリスマスは、卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。卵を食べる。

3 サマーチャレンジの一例

サマーチャレンジ

「夏休みにフィリピンと日本の関わりについて、いろいろなことから調べてみよう」

例えば...

自分の課題

フィリピンを支援しているボランティア団体について調べる

調べてみてわかったこと

日本フィリピンボランティア協会 (JPVA)

・フィリピン各地の教育・環境・福祉・医療・文化交流などを行っている。

活動内容

1. 教育活動

- ・学校建設と運営
- ・教育各種リソースの養成
- ・教育革新制度の推進・奨学生の支援
- ・教材・教具の提供 日比の教育交流
- ・地域での教育支援活動の支援・開発教育
- ・ボランティア教師の派遣

2. 環境保全活動

- ・環境教育・植林活動の推進
- ・熱帯林野生動物園の建設
- ・野菜の品種改良・栽培の研究
- ・日本からの体験学習の受け入れ

3. 文化交流活動

- ・リコーダーの提供と普及活動
- ・歴史資料館の運営

4. 福祉・医療・保健活動

- ・学校保健活動・日本の専科から山の学校への薬の提供
- ・保健所 産院・産後ケア関係の給食活動
- ・貧困層での福祉・医療・保健活動
- ・母親学校・撲滅活動

5. 日比の福祉交流

- ・日本向け介護ヘルパの養成・在宅介護支援
- ・生まがい活動の推進
- ・筆の提供と学校間の交流
- ・日比の福祉施設間の交流

6. 日比のボランティア活動の支援

日比の人達が、次々と生まれる課題に目を向け、それがいそいそと深めながら「自分は何かができるか、自分に挑戦し実践し、自分の生き方を探そう」としてある。

調べた資料やまとめきれないことは、別の用紙に記入しよう。

4 感想

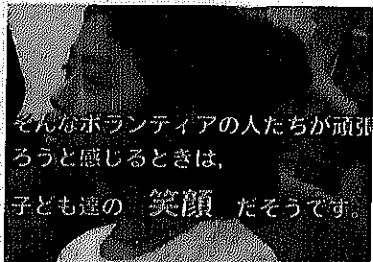
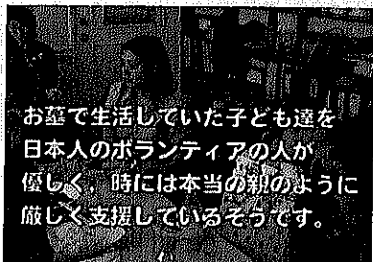
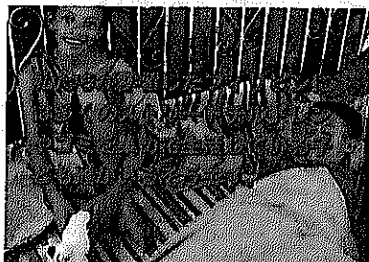
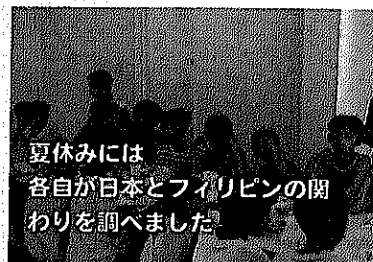
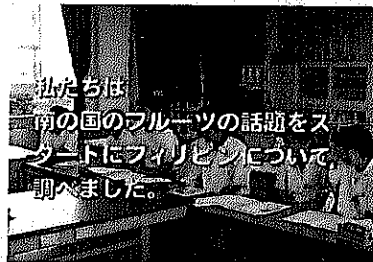
国際協力の現場で活躍する日本人の思い

私は、今までの総合で、フィリピンの人々の生活について調べてきました。調べた結果、フィリピンには、真に暮らしをしている人がいると分かりました。なので、今日やビデオを見たとき、これが負しいということはないと思えました。1日中ゴキウで働いて、得られるものは、1日の食料分のお金だけという生活は、決して楽ではないけれど、暮らしている人たちは、みんな笑顔でした。私は、それを見て、すごく不思議な奴だと思、たけれど、笑顔でいるから、とても幸せなことなんだなと感じました。幸せだから、フィリピンで活動している人たちも笑顔がし、毎日が充実しているんだと思います。自分の生き方を見つけ、それを実行している人たちは、とてもいい奴だと思いました。



17時限

5 発表会用自作VTRの一部



フィリピン
Philippine

参加動機およびプロフィール



1996～99年の3年間マニラ日本人学校（MJS）に勤務する機会を得ました。帰国後、その際に学んだフィリピンについての知識や自分自身の目で見て感じた多くの問題を国際理解教育の中で生かそうとしましたが、子ども達にとっては、直接関わりの少ないこの国の問題に関心を持つことは難しかったようです。むしろ、子ども達がより強く興味を示したことは、そこに生きる現地の子ども達の生活や活動するボランティアとしてがんばる日本人たちの生き方でした。そこで、JICAやNGO関係で働く人たちの「思い」について学び、子ども達とともにあらためて国際理解の方法を探りたいと考えフィリピンでの教師海外研修に参加しました。授業展開では、フィリピンを好きになり、たくさんの人の生き方を学ぶことを中心にした取り組みを実践しました。

參考資料



事前研修

国内機関研修

実施時期：平成15年6月～7月
 実施場所：JICA各国内機関
 研修内容：開発途上国の現状と課題
 ODAとJICAについて
 研修国についての概況説明

東京研修の目的

- ・全国から集う参加者の親睦を図り、現地での視察のポイントや注意点を学ぶことにより、海外での研修をより実り多いものとする。
- ・帰国後に“総合的な学習の時間”等を利用して国際理解教育（開発教育）へ取り組む際の考え方や手法を学ぶ。
- ・研修後の情報交換に役立つ参加教員間のネットワーク作りを促進する。

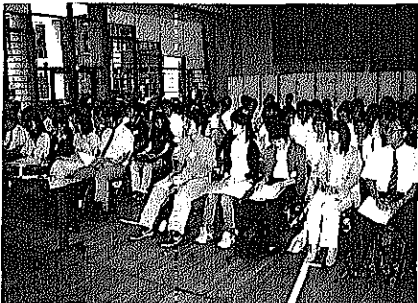
東京研修（直前研修）

実施時期：平成15年7月29日(火)～30日(水)
 実施場所：JICA東京（TIC）

東京研修日程

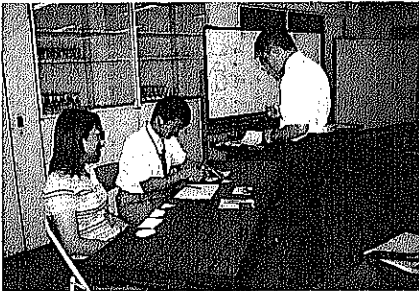
7月29日(火) 参加者同士の状況を把握しつつ、コース毎の団結をはかり、研修実施における役割分担及び現地交流の準備を行う。

第1日目

13:00～	受付開始		TIC本館ロビー
14:00～14:40	開会 1. 主催者挨拶 国際協力事業団 国内事業部長 漢 芳郎 TIC施設説明：TIC地域連携業務室 白井 宏明 2. 同行者紹介 3. 事前研修予定説明		体育館(本館1階)
14:40～15:10	コース毎自己紹介 (※9コースに分かれて実施)	下記以外のコース フィリピン フィジー タイ	体育館(本館1階) セミナールーム9 セミナールーム10 セミナールーム11
15:20～	コース別ディスカッション ・JICA同行者、訪問国情報提供者を中心に現地での視察目的・ねらい、訪問先での対応等について話し合う。 (役割分担などの確認も含む)		会場は同上コース別
17:00～	渡航手続等説明 各代理店より ・パスポート他関係書類の手交と、提出方法についての説明		会場は同上コース別
17:45～	終了 - 自由時間		

7月30日(水) 海外研修後の取り組みに役立てるための国際理解教育（開発教育）の考え方や具体的な手法を学び、参加者間の問題意識・課題等の共有を図る。

第2日目

8:50~10:15 (パート1) 10:15~11:45 (パート2)	開発教育アクティビティ・授業の実践例の紹介 ・異文化やコミュニケーションについて扱ったアクティビティを実践しながら紹介する。 ・国際理解教育や総合的な学習の時間に役立つ具体的手法を学ぶ。 講師：出口雅子氏（ピナツボ復興むさしのネット） 臼井香里氏（開発教育を考える会・開発教育協会理事） 竹山哲司氏（全国国際教育協議会） 湯本浩之氏（開発教育協会） 綿谷亜希氏（開発教育協会）		各部屋にて集合 アセンブリールーム (本館4階) セミナールーム 9・10・11(本館4階) 体育館(本館1階)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1班</th> <th>第2班</th> <th>第3班</th> <th>第4班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パート1</td> <td>新貿易ゲーム</td> <td>バーンガ</td> <td>"もの"ランゲージ</td> <td>フォトランゲージ</td> </tr> <tr> <td>パート2</td> <td>バーンガ</td> <td>新貿易ゲーム</td> <td>総合実践! 教材紹介</td> <td>"もの"ランゲージ</td> </tr> </tbody> </table>					第1班	第2班	第3班	第4班	パート1	新貿易ゲーム	バーンガ	"もの"ランゲージ	フォトランゲージ	パート2	バーンガ	新貿易ゲーム	総合実践! 教材紹介	"もの"ランゲージ
	第1班	第2班	第3班	第4班														
パート1	新貿易ゲーム	バーンガ	"もの"ランゲージ	フォトランゲージ														
パート2	バーンガ	新貿易ゲーム	総合実践! 教材紹介	"もの"ランゲージ														
11:45~12:00	休憩																	
12:00~	開発教育概論 講師：臼井香里（開発教育を考える会代表） ・開発教育の考え方、総合的な学習の時間への導入などについての動きを整理する。 実践報告書（教材集）作成にあたってのポイント			体育館(本館1階)														
12:40~	昼食			食堂または各自														
13:40~	教材集の作成について 国内連携促進課 関口 美紀 ・研修報告書の作成と提出に関する説明 ・実践報告書（教材集）の趣旨説明と、提出方法について			体育館(本館1階)														
14:15~	休憩																	
14:30~15:45	テーマ別打ち合わせ (教科や学校で抱えている問題を出し合い、関心のあるテーマについて話し合いながら、模擬授業案を作成する。もしくは、作成に必要なポイントをまとめる。興味・関心別によるテーマ別ディスカッション)			体育館(本館1階)														
15:45~16:00	休憩																	
16:00~16:45	テーマ別ディスカッション 内容発表			体育館(本館1階)														
16:45~17:00	休憩																	
17:00~19:00	結団式 国内連携促進課長 小幡 俊弘			体育館(本館1階)														

※研修は独立行政法人化以前に行われたため、機構名、担当課名は旧称で表記されています。

研修報告書

コース別日程／参加者氏名

ガーナ Ghana

月日	曜日	時間	内容	宿泊地
7月31日	木	10:25	成田空港出発	
8月1日	金	19:25	アクラ着	アクラ
8月2日	土	10:00 12:00 14:00	オチョレコ小規模灌漑開発プロジェクト 視察 ケープコースト見学 エルミナ城見学	タコラディ
8月3日	日	11:00	アンカシ自然公園視察	タコラディ
8月4日	月	10:00 14:00	エイクエ セントマーティンボレス病院 川村隊員（薬剤師）活動視察 エイクエ内 小・中学校視察	アクラ
8月5日	火	11:00	ニューアプリヘ移動 PPAG（地域保健総合改善プログラム）視察 コフォリデュアへ移動	コフォリデュア
8月6日	水	9:00 10:00 13:00 14:00	アクロボン教育事務所訪問 アマノクロム小学校・ナナアンコピア中学校訪問 テデクワシ・カカオ農園見学 アクロボン（小中学校理数科教育改善計画、理数科フェア）見学	コフォリデュア
8月7日	木	7:00 10:00 14:00 19:00	ガーナ工芸品（ビーズ）作成現場視察 小中学校理数科教育改善計画（STM）視察 アクロボンの中学校生徒の交流 JICA専門家・青年海外協力隊・JICA事務所員懇話会	アクラ
8月8日	金	8:30 10:00 11:30 14:30 15:30	JICA事務所訪問 大使館表敬 教育省、Ghana Education Service訪問 コレブ病院記念館視察（野口英世記念館） ココアボード視察 ストリートチルドレン支援NGOとの意見交換	アクラ
8月9日	土	10:00 14:00	教育勉強会参加（JICA事務所） 市内見学	アクラ
8月10日	日	10:00 21:25	アコンソボダム・ボルタ湖訪問 アクラ発	
8月12日	火	8:45	成田着	

参考写真

氏名	所属学校名	氏名	所属学校名
にしざき ゆみ 西崎 由美	北海道 清水町立清水中学校	すえたけ ひさと 未武 久人	新潟県 長岡市立青葉台中学校
まつしま くみ 松島 久美	山形県 山辺町立中中学校	もりた あきら 森田 昭	埼玉県 越谷市立光陽中学校
おのであら まさあき 小野寺政明	宮城県 本吉町立小泉中学校	こくけい いちろう 木暮恵一郎	東京都 世田谷区立桜木中学校
かしのりひろ 岸 良宏	山形県 山形市立第三中学校	せいの けんじ 清野 賢司	東京都 板橋区立中台中学校
のざわ たかゆき 野澤 敬之	青森県 十和田市立東中学校	やました みほ 山下 美峰	千葉県 浦安市立堀江中学校
おおさき ひろし 大森 弘	茨城県 阿見町立阿見中学校	やまもり ゆみ 山守 由美	東京都 啓明学園中学校
ふじ ほなひで 富士 晴英	東京都 宝仙学園中学・高等学校	みつい なおみ 三井 尚美	神奈川県 津久井町立鳥屋中学校
もりしま えみこ 森島江美子	東京都 豊島区立千川中学校		

●同行者 上村理絵 JICA帯広

特に女性の地位向上に取り組まれている方々の活動が印象的であった。一言に文化ではかたづけられない、そこにNOと言う人がいるならばそれには改善する余地があるとおっしゃっていた言葉に、ただ日本の考え方だけをよしとして活動されていらっしゃるわけではないことが伝わってきた。

清水町立清水中学校 西崎由美

今回の研修で最も印象的だったのは、道路や橋や建物のような目に見える支援だけでなく、教育や医療・むらつくり（むらおこし）のような目に見えない支援も、多方面にわたって地道に行われているということです。道路や橋はそれを作るために支援した国の名前を背負って完成しますが、目に見えない支援は、文字通り「草の根」の、名前も残らないようなたくさんの人々によってなされています。

山辺町立中中学校 松島久美

初めての発展途上国への視察は私の今までの視野と世界観、人生観を大きく変えてくれた研修となりました。途上国ガーナの教育事情を視察し、日本との大きな違い、教育施設の貧困さ、そして教員の質の向上、子どもたちの純真な目の輝き、そして青年海外協力隊の皆さんの若さゆえの情熱かと思ってしまうほどのひたむきな姿勢を見て、自分の教育に対する姿勢の甘さを感じてしまいました。

本吉町立小泉中学校 小野寺政明

支援とは難しいものだ。日本はじめ先進国は、貧困の国に支えられているから物が豊かな国であるということに自覚しつつ、同時に、他国への支援を行なう際には、歴史的背景を知り、生活文化を壊さないようにしていかなければならないのだと改めて思った。JICAの活動を視察して、その点においてすばらしいと思った。教育指導をする際、忘れてはならないことだと強く感じた。

山形市立第三中学校 岸 良宏

私が出会った範囲ではあるが、物理的には恵まれていなくとも、精神面では豊かな子どもが多いと感じた。在ガーナ日本大使館を表敬訪問したときに、大使は「貧しいけれど不幸ではない」と話されていたが、その通りだと思った。本校の生徒にも、「本当の豊かさとは何か?」ということについて考えさせるいい材料が見つかったと思っている。

十和田市立東中学校 野澤敬之

遠く日本を離れた地で頑張っている、協力隊員をはじめとするJICA職員に出会い、そしてお話しができたことがとても有意義な時間だった。特に青年海外協力隊員の方々は現地の生活に密着し、地域の信頼を得て頑張っていた。日本の生活と比べるととても不便なはずなのに、自分の仕事に誇りと自信を持って取り組んでいる姿に敬服した。

阿見町立阿見中学校 大森 弘

ガーナの子供たちに接することができたことは、もっとも鮮明な印象になりそうです。義務教育を受けることができない子供も、学校の制服を着た子供たちと一緒に楽しそうに遊ぶ姿を毎日見ました。しかし、教育の機会が奪われている彼女らは、これからの人生で、世界とどのような関係を結ぶことができるのでしょうか。この問題が存在することを忘れずに、学校及び授業運営にあたりたいと考えます。

私立宝仙学園中学校 富士晴英

スイッチを押せば明かりが点くこと、水道から飲み水が出ること、具合が悪いときにすぐ病院に行けること、自分の名が書けること、学校に通えること…。日本では疑問に思わないこれらのことが、地球規模で考えると実は当たり前ではないという事実が、現地に行き話を聞くことで実感として胸に迫りました。生活は質素であるにも関わらず、ガーナの人の表情はとても明るく、そのことが非常に印象的でした。「物質の豊かさ=心の豊かさ」ではないということに気がつかされました。

豊島区立千川中学校 森島江美子

ガーナでの研修は個人的にすべて「人の営みが見える研修」だったと思う。ケープコースト城やエルミナ城での負の遺産としての奴隷売買の事実、アンカサ国立公園での森林レンジャーの取り組み、セントマーティン・デ・ポレス病院での川村隊員の活躍等、訪問した場所すべてにおいて様々な意味で人々の熱い営みを感じることができた。

長岡市立青葉台中学校 末武久人

ガーナという地を初めて踏んで、アフリカ大陸に立つことが出来た。感動である。ガーナ人の識字率が北部に行けば行くほど低くなっていることがわかった。ガーナの田舎のコミュニティーを訪問する際は、必ずそのコミュニティーの長に形式的な挨拶をする習慣があると言ったことがわかった。

越谷市立光陽中学校 森田 昭

一人一人の協力隊員や専門家の方が、しっかりと自分の目標を持ち、自分の技能を生かし、ガーナのために一生懸命につくしている姿に感動した。とくにSTMプロジェクトによる生徒中心の考えさせる授業への試みはこれからのガーナにとって重要なことだと思った。同時に、教育勉強会においてガーナ北部の厳しい教育事情を知り、ガーナ国内にも南北問題のあることを理解した。

世田谷区立桜木中学校 木暮恵一郎

生徒に伝えたいのは、ガーナの人々も君たちと同じようなことを考え、むしろ日本より心豊かに楽しく暮らしていることである。豊かさについての生徒の既成概念を揺さぶりたい。そして生徒が私をきっかけにしてガーナに興味を持ち、「友達になりたい」と思ってくれたら、南北問題もより深く捉え、現実的に行動できるフットワークの良い人になれるだろう。

板橋区立中台中学校 清野賢司

日本の外に、ヨーロッパ等のNGOも、ガーナの各地で国際協力を行っていることがわかった。日本は「お金」がある国だから、お金を発展途上国に送っているとしか理解されていない部分が多々あったが、これは誤解であることがよくわかった。同じ日本人として、若い隊員たちが、また、専門家たちが、現地に汗を流し、溶け込み、ガーナ人の生活の改善のために努力を惜しまずに働いている事実に感動と誇りを感じた。

浦安市立堀江中学校 山下美峰

最近、私は豊かさって何だろうって事を考えます。そして、自分が困っている人や国の手助けをしたいと考えたときに、本当の協力ってどうすることなのだろうって。Case by Caseですが、今私のテーマとなっています。一方的なものの見方だけではなく相手の立場に立って、多面的な見方をしたいと思いません。

私立啓明学園中学校 山守由美

援助をする側、される側の両方の思いが一致して初めて、意味のある援助ができるのだと感じた。JICAの行う仕事は、ただ経済的な援助をするだけでなく、事前にどんな援助が必要か調査を行った上で、プロジェクトを立ち上げ、それに必要な人材までも派遣し、そのプロジェクトがうまく機能しているか確かめるということを知り、たいへん勉強になった。

津久井町立鳥屋中学校 三井尚美

コース別日程／参加者氏名

ラオス Laos

月日	曜日	時間	行 程	宿泊地
7月31日	木	11:05	成田空港出発	バンコク
8月 1日	金	9:30 11:00 15:00 16:00	ヴィエンチャン着 国立ラオス大学工学部 ロボットコンテスト・校舎見学 JICA事務所 日本大使館表敬訪問	ヴィエンチャン
8月 2日	土	10:00 13:30 16:00	ホイホン職訓センター見学 NGO「ラオスの子供に絵本を送る会」視察（ヴィエンチャンこども文化センター） 市内小・中学校 校舎見学	ヴィエンチャン
8月 3日	日	10:30 13:00	NGO「ラオスの子供に絵本を送る会」視察（バクサン児童館） サバナケットへ移動	サバナケット
8月 4日	月	9:00 14:00 15:00 16:00	灌漑施設見学（KM35） サバナケット県病院（松崎隊員活動現場）視察 サバナケット県技術短大（後藤SV活動現場）視察 サバナケット県技術短大ビジネスコース視察	サバナケット
8月 5日	火	11:00 13:30 14:30	カムアン県立病院（米川隊員活動現場）視察 カムアン県農林高灌漑課（小川隊員活動現場）視察 ヴィエンチャンへ移動	ヴィエンチャン
8月 6日	水	9:15 10:00 11:30 13:30	DIC（国際経済協力省）表敬訪問 空港管制塔見学 教育省表敬 日本語学習者との交流（日本センター）	ヴィエンチャン
8月 7日	木	8:40 9:00 13:30	青年同盟表敬訪問（坂牧専門家） 青年同盟 合気道・柔道見学（青木SV） ナムグムダム訪問（リハビリティ無償/佐藤専門家）	ヴィエンチャン
8月 8日	金	10:00 14:00	AQUIP 施設内見学・放流 セタティラート病院改善プロジェクト視察	ヴィエンチャン
8月 9日	土	10:30 11:30 22:15	ヴィエンチャン発 バンコク着 バンコク発	
8月10日	日	6:15	成田着	

氏 名	所 属 学 校 名	氏 名	所 属 学 校 名
たけだ まさひと 竹田 真人	長野県 更埴市立屋代中学校	やぎ みつる 八木 三鶴	京都府 亀岡市立詳徳中学校
くろだ まゆこ 黒田麻裕子	岐阜県 可児市立西可児中学校	いまにし かずひろ 今西 和博	奈良県 室生村立室生中学校
いけはた なおや 池畑 直哉	三重県 青山町立青山中学校	ただ ひろし 多田 浩	大阪府 枚方市立第三中学校
たかだ ももこ 高田 桃子	愛知県 岡崎市立岩津中学校	かわはら かつひこ 河原 勝彦	京都府 京田辺市立田辺中学校
はやし みちよ 林 美千代	富山県 高岡市立戸出中学校	しみず ひろかず 清水 弘和	大阪府 大阪星光学院中学校
しほみ こうじ 塩見 光二	滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校	つねみ のりこ 常深 規子	兵庫県 吉川町立吉川中学校
ながた しのか 永田 忍	大阪府 南河内郡太子町立中学校	よしおか てつ 吉岡 徹	兵庫県 兵庫県立のじぎく養護学校
いまにし しおかず 今西 塩一	奈良県 曽爾村立曾爾中学校		



視察を通して、8人の子どもに話を聞くことができた。これらの話は、今後の授業や教育への材料や背景として非常に参考になった。勉強に対して関心が高く、語学については英語や日本語が非常に堪能である子どもが多い印象を受けた。この学習、特に語学に対するモチベーションがこれほどまでに高いのは、ラオスの未来や自分の未来に対して明確なビジョンを持っているからのことであろう。今、行っている学習がどのように生きるのか、そんな意義付けや、体験が大切なのだと改めて認識した。

更埴市立屋代中学校 竹田真人

協力隊やSV、専門家の方の、仕事の様子や所属場所の見学をすることよりも、現地で働いて見える方と交流することこそが何より参考になった。なので、～を視察したということよりも、～で働く～さんと話ができたとしたことや、～の夕食の席でJICAの～さんと話ができたと、といったようなことが私自身の生き方スタディーとなった。

可見市立西可見中学校 黒田麻裕子

今回の研修から、たくさんのことを学ばせていただきました。その一つは、実際に自分の目で見ることの大切さです。私はこれまで途上国というと、経済的に貧しく、飢餓や病気に苦しんでいるという偏った見方をしていました。しかし、今回の研修を通して、ラオスという国は経済的には貧しいが、豊かな自然に恵まれており、「食」に関しては豊かな国であることを知りました。また実際に異文化に触れることが異文化を理解することにつながっていくのだということも強く感じました。

青山町立青山中学校 池畑直哉

今回の研修は本当に貴重な体験だった。日本はともにお金持ちで進んでいる国であることを再認識する旅でもあり、答えのないものを深く考える素敵な時間でもあった。そして、何よりも「一期一会」の人との出会いがすばらしかった。 Deng熱におびえながらも励ましあい、共に過ごしたラオス団。各地方の先生方と出会えたこと、話せたこと、感じ合えた

ことが何よりも財産になったと思う。

岡崎市立岩津中学校 高田桃子

JICAのプロジェクトについて学んだり、現地で活躍している日本人と多く出会えたり、ラオスの人々と交流する中で、国と国との関係のあり方や生き方について広い視野で考えることができた。ラオスでは、人材支援、技術協力など、4つの重点支援が日本から行われていることを知った。いろんな分野の専門家が、異文化、不十分な生活環境で生き生きと働いておられることに感銘を受けた。

高岡市立戸出中学校 林美千代

特に主眼をおいた点。ラオスにおける国際協力の実態。ラオスの人との出会い。タイムリーな記録。JICAの働きのラオスにおける業績の数々。出会いを通して得た情報の数々。自分が見たいことや、やりたいことが出来たと考えている。

滋賀大学教育学部附属中学校 塩見光二

ラオスには資源が豊富にあるわけでもなく、交通の便がいいわけでもないのに、多くの日本人が支援・援助に関わっていることに、本当に感動した。日本ではODAのあり方に疑問を持つ人が多いが、「本当に何もないから(自国で開発していく手段が)支援し、共にがんばっていききたい」という気持ちが伝わってきたのは、この視察での大きなポイントだった。

南河内郡太子町立中学校 永田 忍

ウルチ米(カオチャーオ)ではなく、モチ米(カオニャオ)のおいしさを知りました。カオニャオを蒸すための竹製のカゴと鍋、七輪と木炭の組み合わせを知り、絵でできたおひつと竹製のティップカオの共通性です。我が国における糯米の利用がラオスでも見ることができました。また、竹加工品にも同じ利用方法を見つけました。

曾爾村立曾爾中学校 今西塩一

今回の研修で「国づくりは人づくりから」という言葉を多くの方々から異口同音に聞かせていただきま

した。その言葉を裏付けるかのように、様々な場所で、人材育成と物的援助が進められていることを知りました。また、プロジェクトや活動を進めていく中でラオス人スタッフや日本人スタッフの方々の現場からの生の声が聞けたことは、生徒達にラオスのことを伝えていくうえで貴重な資料となりました。

亀岡市立詳徳中学校 八木三鶴

ラオスには日本語の「がんばる」にあてはまる言葉がないそうです。そういう国柄の人たちに日本人的にガンガン働いて、残業もして成果をあげていこうという形で押し進めていては逆にいけないということです。まずは、成果が上がらなくとも現地に溶け込み、お互いに信頼関係を作ることが大事であるという姿勢は、立場は違えど私たち教師が様々な個性を持った子どもたちと接し、向き合っていくことにおいても大切だと再認識させられました。

室生村立室生中学校 今西和博

参加者が精力的に寸暇を惜しんで現地の普通の店に入ったり、訪問先の子ども達や学生と話をし得られたこと（ラオスの人たちに関する実地の印象）は、各参加者の血肉となってその後の国際理解教育を深い部分で支えると思われる。

枚方市立第三中学校 多田 浩

もっとも強い印象を受けたのは、現地で日本の援助によって多くの施設が建てられ、そこで多くの日本人が活躍していることであり、それらの人々の活動の分だけ、そのままこの国の発展を支える力になっ

ているということである。しかも、日本の援助や支援活動が、現地で自然に溶け込み、周囲からの期待と信頼がよせられていることがたいへん印象的であった。

京田辺市立田辺中学校 河原勝彦

今までは、文献でしか知ることができなかったODAの現場や協力隊員の方々に直接会い、話を聞くことができたのは有意義でした。支援や援助と聞くと、ハコモノの建設や資金提供の印象が強いですが、実は、ハコモノの維持や、また新しいものを造り上げていく際に一番重要なのは、人材であり、その人材を育てるための教育であることがよく分かりました。

大阪星光学院中学校 清水弘和

今回の研修では、「ラオスの良いところを見つけよう。」と心がけていました。いろいろなことが体験できてよかったです。日本の良さも再認識できるとともに、日本が忘れかけている大切な心、「本当の幸せって何？」と考える機会にもなりました。そして、今まで「当たり前」としてとらえていたことが、「当たり前」でないことに気づかされ、考えさせられました。

吉川町立吉川中学校 常深規子

ラオスの医療面での整備の遅れは目を覆うばかりの部分もあり、社会主義の国でありながら、医療費が払えないために十分な医療を受けられずに亡くなっていく人も多いことを知った。個人の貧しさばかりでなく、国の貧しさがその国に生きる人間の命に直接影響することを実感した。

兵庫県立のじぎく養護学校中学校 吉岡 徹

コース別日程／参加者氏名

フィリピン Philippines

月日	曜日	時間	行 程	宿泊地
7月31日	木	9:30	成田空港出発	マニラ
8月 1日	金	10:00 15:00 18:30	JICA事務所訪問 JICA理数科教育向上プロジェクト視察 JICA-Net施設視察	マニラ
8月 2日	土	8:00 11:30 13:00	NGO「国境なき子供達」事務所訪問 ストリートチルドレンの住む墓地視察 NGO「ICAN」活動見学	マニラ
8月 3日	日	21:00	マニラからバコロドへ移動 原専門家を交えた夕食（理数科教員養成プロジェクトの概要説明及び質疑応答）	バコロド
8月 4日	月	10:00 13:00	NGO「OJSCA」養蚕普及プロジェクト視察 JICA理数科教員研修プロジェクト視察	バコロド
8月 5日	火	11:00	バコロドからマニラへ移動 マニラ市内観光	マニラ
8月 6日	水	11:00 16:00	マニラからロスバニョスへ移動 JICA・畜産隊員活動見学 ラグナ州の公立高校訪問・交流	ロスバニョス
8月 7日	木	10:00 14:00	ロスバニョスからマニラへ移動 JICA治水砂防技術力強化プロジェクト視察	マニラ
8月 8日	金	10:00 午後 夜	NGO「マリガヤハウス」訪問 ケソン市立高校 視察 JICA所員との交流会	マニラ
8月 9日	土	14:45 19:55	マニラ発 成田着	

氏 名	所属学校名	氏 名	所属学校名
こうの 河野 淳子	広島県 広島市立吉島中学校	いしい 石井 誉典	福岡県 中村学園三陽中学校
みづら 三浦 敏忠	広島県 因島市立田熊中学校	おくた 奥田 まさのり 政憲	福岡県 久留米市立荒木中学校
まつお 松尾 砂織	広島県 広島大学附属三原中学校	くまさき 熊崎 ふみはる 文治	福岡県 前原市立前原中学校
ますだ 増田 きよし 聖	香川県 高松市立木太中学校	ざまみ 座間味れい子	沖縄県 那覇市立那覇中学校

異なる考え方や価値観を大切にしつつ、共に同じ目標に向かって地道に努力を積み重ね行動に移していくことがどれだけ大変なことか、いかに自分が現実の厳しさを知らずにいたかがよく分かり、教師として人間として学ぶことが多く、自分自身の生き方を問い直す良い契機となりました。

広島市立吉島中学校 河野淳子

視察国に着いての最初の印象は、貧富の差の極端な差についてでした。しかし、パタヤス等、貧困層の人々が生活する場を訪問したときに、鮮烈に感じたことは、どんなに貧困の境遇にあっても、そこで生活する人々の表情に曇りはないし今ある暮らしの中から、明るさを見つけだしていこうとする姿でした。

因島市立田熊中学校 三浦敏忠

実地視察を通して、開発援助と実態と今後の課題を知ることができたことは、私が今後の開発教育の在り方を考え、理解し、それを教育現場で実践する上で大きな財産であると思う。JICAやOISCA等のNGO、団体の活動内容と目的をよく理解した上で、そこで活躍する人々の生き様を多くの生徒に伝えるための教材提示の在り方を考える参考になった。

広島大学附属三原中学校 松尾砂織

学習で大切なことは、どのような事実も同じ人間として素直にその内容を受け入れ思いをめぐらせることだと実感した。それは厳しい環境でも常に明るい笑顔と意欲的な発言や集中力あふれる授業のようすを的確に伝えることで解決できると思えるようになったためである。さらに、それらの問題を支援する活動に熱意を持って貢献する日本の人々の存在とその「願い」を知ることで国の違いを越えた理解ができると確信するようになった。

高松市立木太中学校 増田 聖

特にストリート・チルドレンの実態を知り、パタヤスのゴミ山（ニュー・スモーキー・マウンテ

ン）とその周辺で暮らす人々の生活を目の当たりにすることは非常に衝撃的であったし、そこで活躍するNGOの人々との会話は、生涯、忘れられないものとなった。それぞれがフィリピンを愛し、フィリピンの人々を愛し、問題意識を持って活動している。「本当に自分たちの手でなんとかしたいんだ」という意気込みと献身的な努力が協力現場にあることを実感できた。

中村学園三陽中学校 石井誉典

「これからもずっとフィリピンにいたいです。」と日本人のボランティアの方々が同じ様に答えました。墓場で生活するストリートチルドレンの子ども達をなんとか定着させたいと笑顔で語っていた人、ゴミ山で生活する子どもたちの教育を担当しその生活改善をめざす人等、つらい環境にあっても笑顔をやさず自分のためにフィリピンの人たちのために何かできる事はないだろうかと頑張っている姿が本当に印象的でした。

久留米市立荒木中学校 奥田政憲

特に感心させられたことは、私たちが知らないところで、自分の人生を通し、人間らしく生きる権利を奪われた人たちのことを考え、行動している人たちがいる、という事実である。私たちも、学校では道徳や人権学習の中で、困っている人には手を差し伸べようとか、優しくしようなどといっているわけだが、実際行動している人たちの前に立った時、自分の偽善に気づかされた。

前原市立前原中学校 熊崎文治

「この国には、あなたたちが失ったものがまだまだたくさん残っていますよ。」と言われていたような気がした。それを「ホスピタリティー」とか「フレンドリー」と表現し、個人レベルでも国レベルでも、「自立」より「助け合い」が当たり前になっている国とでもいえばいいのだろうか？フィリピンには一人暮らし老人はいないので、老人ホームは存在しない。学校でのいじめもなく、当然子供の自殺もない。タガログ語に「自立」とか「福

社」いうことばがあるのか聞いておけばよかった。
豊かさの意味について改めて考えさせられた。

那覇市立那覇中学校 座間味 れい子



訪問国概要

ガーナ共和国 (Republic of Ghana)



1. 概要

面積	238,537km ² (日本の約3分の2)
人口	約2,090万人 (2003年世界人口白書)
首都	アクラ 約184万人 (2000年: EIU レポート)
人種	アカン族、ガ族、エベ族、ダゴンバ族、マンブルス族他
言語	英語 (公用語)
宗教	国民の約半数がキリスト教徒、イスラム教約15%、その他伝統的宗教

2. 経済 (単位: 米ドル)

主要産業	農業 (カカオ豆)、鉱業 (貴金属、非鉄金属)
GNI ^{※1}	54.0億米ドル (世銀: 2002年)
一人当たりGNI	270米ドル ()
経済成長率	3.7% (2000年)、4.0% (2001年)、4.5% (2002年)、5.2% (2003年)
物価上昇率	21.3% (2001年末)、15.2% (2002年)、23.6% (2003年)
失業率	不明
総貿易額 (2003年)	(1) 輸出 22.9億ドル (2) 輸入 29.6億ドル
主要貿易品目	(1) 輸出 金、カカオ豆、木材 (2) 輸入 石油、自動車、食料品
貿易相手国 (2000年/IMF ^{※2})	(1) 輸出 トーゴ、英、独、米、オランダ (2) 輸入 ナイジェリア、英、米、独、オランダ
通貨	セディ
為替レート	1ドル=8,900セディ (2004年7月現在)
経済概況	ガーナ経済は農業・鉱業等に依存する典型的な一次産品依存型でありカカオ、金が主な輸出品となっているため国際貿易の影響を受けやすい環境にある。1983年以降、構造調整を実施して経済の再建に取り組んだ結果、1980年代後半から平均5%のGDP成長率を達成し、サブ・サハラ・アフリカにおける構造調整の優等生として評価されてきた。一方近年は金やカカオの国際価格の低迷、主要輸入品である原油価格の高騰等により経済は厳しい状況となった。クフォー政権はこのような経済状況の悪化を踏まえ、2001年3月、拡大HIPC (重債務貧困国) イニシアティブ適用による債務救済申請を行う政策転換を行い、経済の再建に向けた努力を行っている。

3. 経済協力

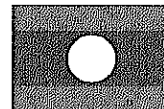
我が国の援助実績	(1) 有償資金協力 (2002年度まで、交換公文ベース) 1,250.91億円 (2) 無償資金協力 (2002年度まで、交換公文ベース) 624.05億円 (3) 技術協力 (2002年度まで、JICA経費実績ベース) 289.80億円
主要援助国 (02年 単位: 百万米ドル)	(1) オランダ (114.2) (2) 英国 (97.8) (3) 米 (53.5) (4) デンマーク (39.7) (5) 日本 (34.6)

※1 GNI…Gross National Income 国民総所得

国民が受取った実質的な所得をGNP (国民総生産) よりも的確に表す指標。名目的にはGNPと同じ。

※2 IMF… International Monetary Fund 国際通貨基金

ラオス人民民主共和国 (Lao People's Democratic Republic)



1. 概要

面積	24万km ²
人口	552.6万人 (2002年)
首都	ビエンチャン
人種	低地ラオ族 (60%)、その他計49民族
言語	ラオス語
宗教	仏教

2. 経済 (単位:米ドル)

主要産業	農業、林業木材加工及び水力発電
GDP ^{*1}	2,017百万ドル (2002年)
一人当りGDP	365ドル (2002年)
経済成長率	5.9% (2002年)
物価上昇率	14.81% (2002年)
失業率	不明
総貿易額	(1) 輸出 323百万ドル (2) 輸入 534百万ドル
主要貿易品目	(1) 輸出 電力、木材、縫製品、コーヒー (2) 輸入 燃料、日用品、繊維原料
貿易相手国	タイ、ベトナム、中国、日本
通貨	キープ (Kip)
為替レート	1ドル=10,400キープ (2004年3月現在)
経済概況	(1) 75年以来の計画経済が行き詰まり、86年に「新経済メカニズム」とよばれる経済改革に着手、銀行制度、税制、外国投資法の制定、国営企業の民営化等幅広い分野での措置を通じ、市場経済の導入、開放経済政策を推進中。 (2) アジア経済危機の際、国内マクロ経済運営のまずさから、高率のインフレ及び為替レートの下落に直面。現在は緩やかな回復基調。 (3) 第7回党大会 (2001年) において2020年までのLLDC脱却、国民生活水準3倍増等を目指した長期目標を策定。 (4) 外国投資の促進 (94年6月投資法改正)。

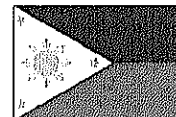
3. 経済協力

我が国の援助実績 (1966年度より2000年度まで)	(1) 有償資金協力 90.93億円 (2) 無償資金協力 811.16億円 (2000年度 68.66億円) (3) 技術協力 247.33億円 (2000年度 34.89億円)
DAC内主要援助国 ^{*2} (2000年)	(1) 日本 (2) 独 (3) スウェーデン (4) 仏 (5) 豪州

※1 GDP…Gross Domestic Product 国内総生産
一定期間に国内で生み出された付加価値の総額。GNP (国民総生産) が外国に暮らす国民の生産量も含むのに対しGDPは国内のみの生産を測る指標。

※2 DAC…Development Assistance Committee 開発援助委員会
OECD加盟国 (29カ国) 中の22カ国と、欧州委員会の合計23メンバーから成る対開発途上国開発援助のための委員会。

フィリピン共和国 (Republic of the Philippines)



1. 概要

面積	299,404km ² (日本の8割の広さ)。7,109の島がある。
人口	7,650万人 (2000年5月国勢調査値)
首都	メトロ・マニラ (人口993万人)
人種	マレイ系が主体。他に中国系、スペイン系、及びこれらとの混血、更に少数民族等がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語と英語。80前後の言語がある。
宗教	国民の83%がカトリック、その他のキリスト教が10%、イスラム教は5%。

2. 経済 (単位: 米ドル)

主要産業	農林水産業 (全就業人口の約37%が従事)
GNP ^{*1} (億ドル)	685 (98年)、802 (99年)、790 (00年)、757 (01年)、820 (02年)、864 (03年)
一人当りGNP (米ドル)	912 (98年)、1045 (99年)、1051 (00年)、978 (01年)、1034 (02年)、1050 (03年)
経済成長率 (%)	-0.6 (98年)、3.4 (99年)、4.4 (00年)、3.2 (01年)、4.6 (02年)、4.5 (03年)
物価上昇率 (%)	9.8 (98年)、6.7 (99年)、4.4 (00年)、6.0 (01年)、3.1 (02年)、3.1 (03年)
失業率 (%)	10.0 (98年)、9.8 (99年)、11.2 (00年)、11.1 (01年)、11.4 (02年)、11.4 (03年)
総貿易額 (億ドル)	(1) 輸出 350.4 (99年)、380.8 (00年)、321.5 (01年)、352.0 (02年)、357.5 (03年) (2) 輸入 307.4 (99年)、344.9 (00年)、330.6 (01年)、354.3 (02年)、374.5 (03年)
主要貿易品目	(1) 輸出: 電子・電気機器、輸送用機器等 (2) 輸入: 通信・電気機器、電子部品、発電用重電機器等
貿易相手国 (シェア順)	(1) 輸出 (1) 米国 (2) 日本 (3) オランダ (02年) (2) 輸入 (1) 日本 (2) 米国 (3) 韓国 (02年)
通貨	ペソ
為替レート	1ペソ=約2円 (04年4月現在)
経済概況	アジア通貨危機以降は緩やかな回復基調。03年のGDP ^{**2} 成長率4.5%増を記録、政府目標値4.2-5.2%を達成した。今後、持続的な成長を維持していくには、経済構造改革、財政赤字解消、不良債権処理、治安回復によるフィリピン経済への信頼回復が課題である。

3. 経済協力

我が国の援助実績 (技協はJICAベース)	(1) 有償資金協力	271.88億円 (02年)	(2002までの累計)
	(2) 無償資金協力	70.89億円 (02年)	
	(3) 技術協力実績	67.18億円 (03年)	
主要援助国 (2000年)	(1) 日本 (62.4%) (2) 米 (15.4%) (3) 豪 (6.2%) (4) 蘭 (5.0%)	*支出純額合計502百万ドル	

*1 GNP…Gross National Product 国民総生産

ある一定期間にある国で新しく生産された財 (商品) やサービスの付加価値の合計。

*2 GDP…Gross Domestic Product 国内総生産

GNPが外国に暮らす国民の生産量も含むのに対し、GDPは国内のみ生産を測る指標。

開発教育関係団体および教材紹介

開発教育や開発問題について、もっと詳しく知りたい方々のために開発教育を実施している団体や授業で使える教材/書籍をリストアップしてみました。JICA刊行のものについては、最寄のJICA国内機関にお問合せ下さい。

開発教育関係団体 ①セミナー開催 ②講師の派遣 ③資料の収集・開発・提供 ④スタディーツアー ⑤機関誌の刊行 ⑥その他

全国国際教育研究協議会

事務局：東京都立蒲田高等学校
〒144-0053
東京都大田区蒲田本町1-1-30
TEL 03(3737)1331
FAX 03(3737)1714
URL <http://www.kokusaiken.com/>
①～⑤、⑥授業の中での開発教育の実践

(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
アパコビル5階
TEL 03(5292)2911
FAX 03(5292)2912
e-mail global-citizen@janic.org
URL <http://www.janic.org/>
①②③⑤、⑥NGO市民情報センター

(特活)名古屋NGOセンター

〒450-0033
愛知県名古屋市中村区名駅南1-20-11
NPOプラザなごや3階北室
TEL 052(588)3680
FAX 052(588)3680
e-mail info@nangoc.org
日・月・祝日休み。開所時間13:00～17:00
訪問の場合は事前に要連絡。
URL <http://www.nangoc.org/>
①②③④⑤

(特活)関西NGO協議会

〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町2-30
TEL 06(6377)5144
FAX 06(6377)5148
e-mail knc@ak.wakwak.com
月～金および第2・第4土曜13:00～18:00
URL <http://park15.wakwak.com/~knc/>
①②③④⑤、⑥関西NGO大学

(特活)開発教育協会

〒112-0022
東京都文京区小石川2-17-41
富坂キリスト教センター2号館3階
TEL 03(5844)3630
FAX 03(3818)5940
URL <http://www.dear.or.jp/>
①②③⑤、⑥開発教育情報センター

(特活)国際理解教育センター(ERIC)

〒114-0023
東京都北区滝野川1-93-5
コスモ西楽鶴105
TEL 03(5907)6064(テキスト係)
03(5907)6054(研修係)
FAX 03(5907)6095
e-mail eric-net@try-net.or.jp
月～金の10:00～18:00
訪問の場合は事前に要連絡
URL <http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>
①②③④⑤、⑥カリキュラム開発など

(特活)シャプラニール=市民による海外協力の会

〒169-8611
東京都新宿区西早稲田2-3-1
早稲田奉仕園内
TEL 03(3202)7863
FAX 03(3202)4593
e-mail info@shaplaneer.org
火～土の10:00～18:00
日曜、月曜、祝日休み。
URL <http://www.shaplaneer.org/>
①②③④⑤、⑥パンクラデシュ・ネパールの手工芸品輸入販売

(特活)シャンティ国際ボランティア会(SVA)

〒160-0015
東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F
TEL 03(5360)1233
FAX 03(5360)1220
e-mail info@sva.or.jp
月～金の10:00～17:30 土、日、祝日休み
訪問の場合は事前に要連絡
URL <http://www.jca.apc.org/sva/>
①②③④⑤、⑥

(財)国際協力推進協会(APIC)

〒112-0012
東京都文京区大塚5-3-13
小石川アーバンビル8F
TEL 03(3947)2491
FAX 03(3947)4491
URL <http://www.apic.or.jp/plaza/>
①②③、⑥国際協力プラザ

(社)協力隊を育てる会

〒160-0013
東京都新宿区霞丘15 日本青年館内
TEL 03(3402)2153
FAX 03(3402)3263
e-mail mail@sojocv.or.jp
月～金の9:30～17:30
URL <http://www.sojocv.or.jp/>
①②③⑤、⑥小さなハートプロジェクト

(社)青年海外協力協会

〒160-0013
東京都渋谷区広尾4-2-24
広尾青年海外協力隊訓練所内
TEL 03(3406)9151
FAX 03(3406)9160
e-mail info@joca.or.jp
月～金の9:30～17:30
URL <http://www.joca.or.jp/>
①②③⑤

(財)日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)

〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
TEL 03(5789)2013
FAX 03(5789)2033
URL <http://www.unicef.or.jp>
①②③、⑥図書館

(社)日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
TEL 03(5424)1121
FAX 03(5424)1126
URL <http://www.unesco.or.jp/>
①②③④⑤

■開発教育教材

コーヒーカップの向こう側 ～一杯のコーヒーから考える世界の貿易～(仮題)



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260
発行：2005年春(予定)

身近なコーヒーを題材に、生産国の現状と世界の流通のしくみを理解し「いい貿易とは何か」を考えるシミュレーション教材。生産者が抱える様々な問題や「南」の国々の低開発に貿易がどう関わっているかに気づくことができる。最新のデータを入れ、使いやすとした改訂版。中学生以上向き。

パーム油のはなし ～「地球にやさしい」ってなんだろう?～



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,890 発行：2002年

ポテトチップスやチョコレート、アイスクリームなどの原料となる天然の植物性油脂として、日本では「地球にやさしい」とされているパーム油。生産国で起こっている問題を知り、その問題が生まれる構造を理解し、私たちの消費生活を振り返ることで「地球にやさしい」とは何なのかを考えることをねらいとした教材。中学生以上向き。

「開発教育」ってなあに? 開発教育Q&A集[改訂版]



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,000 発行：2004年

開発教育とは何か、どのように実践するのかを分かりやすく紹介した入門書。「理論編」ではねらいや手法、歴史など、「実践編」では学校やNGO、自治体などでの実践例を紹介。

つながれ開発教育 ～学校と地域のパートナーシップ事例集～



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,050 発行：2001年

学校と地域が様々な形でパートナーシップをとりながら開発教育や国際理解教育についてとり組んでいる国内外の14の事例を紹介しつつ、パートナーシップのあり方や今後の課題を明らかにしている。

もっと話そう! 平和のためにできること



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年

戦争や紛争の原因を掘り下げ、平和を築くために一人ひとりが出来ることを考えるためのアクティビティを多数紹介。授業はもちろん、市民グループの集まりなど様々な場面で使える。

ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,200 発行：2003年

ベストセラーになった「世界がもし100人の村だったら」(マガジンハウス刊 池田香代子再話)の参加型学習教材。「100人村」のメッセージに込められた人口、教育、富の分配など世界の格差と多様性を考えるアクティビティを掲載。単に「日本に生まれてよかった」という感想に留まらず一歩理解を進める工夫がなされている。

グローバル・エクスプレス 1-5号



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：1号¥1,050 2-5号¥840
発行：2004年

時事問題を教室で学ぶための教材。各号ごとのテーマに沿って数種類の授業展開例とワークシートが掲載されている。メディアで流れる情報を自ら深く分析し、考える力や「南」で起きていることと私たちの日常生活を結びつけてニュースを読むグローバルな視点を養うことを目的としている。第1号「ニュースに耳を傾ける(基本編)」、第2号「攻撃を超えて(9.11同時多発テロとイスラム)」、第3号「難民(難民、日本における難民政策)」、第4号「イラク(イラク問題、紛争の解決)」、第5号「紛争報道(イラク戦争と報道)」。

開発教育キーワード51



問合せ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,575 発行：2002年

開発問題・開発教育・国際理解に関する基本用語を明確にし、それぞれの関連性を整理した用語集。

参考資料

新・貿易ゲーム
～経済のグローバル化を
考える～



冊子
有料

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥840 発行：2001年

「貿易」を中心に、世界経済の動きを疑似体験することによって、そこに存在するさまざまな問題について学び、その解決の道について考えることを目的としたシミュレーションゲーム。

**参加型学習で世界を
感じる—開発教育実践
ハンドブック**



冊子
有料

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥2,100 発行：2003年

この一冊で開発教育の手法と学習プログラムとが学べる実践ハンドブック。参加型学習の基本的な手法（アクティビティ）や事例を紹介するほか、開発教育を「総合的な学習」の時間などで扱うための学習プログラムと教材を12のテーマでまとめている。大好評の既刊「いきいき開発教育」「わくわく開発教育」を一冊にまとめたもの。

**持続可能な開発のため
の学び 別冊【開発教育】**



冊子
有料

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年

「持続可能な開発のための教育」とはどのような教育なのか、持続可能な社会をつくるためにどのような実践が求められているのかを考察するとともに、地域での学びの実践の事例も紹介。2005年から始まる「国連・持続可能な開発のための教育の10年」に向け、理論と実践をまとめたハンドブック。

**一教室と世界をつなぐ—
開発教育教材カタログ
2003**



冊子
有料

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,575 発行：2003年

1995年以降に制作・発行された国内外の開発教育教材約150点を収録した教材カタログ。開発や環境、国際理解、国際協力などのテーマを扱うグローバルな視点を持った教材を収集し、体系的に整理している。

地球の仲間たち



CD-ROM
有料

製作：開発教育を考える会
販売：有限会社INT
TEL 03(5725)5688
FAX 03(5725)5689
URT <http://www.nakamatachi.jp/chikyu/> (体験サイト)

定価：
シングルライセンス(個人用) ¥5,700
5台ライセンス(授業用) ¥27,500
22台ライセンス(授業用) ¥120,800
学校無制限ライセンス(授業用) ¥180,800

世界19カ国、20人の子どもの生活やものの考え方などを500枚を超える写真と解説文で紹介。日常生活のほかに、将来の夢や直筆メッセージも含まれており、クイズに参加しながら子ども達の生の声が伝わるように工夫されている。また、子ども達の暮らしを題材にした英語の質問も音声(英文・日本語訳つき)で組み込まれていて、英語の授業にも対応可能。

掲載国：ベルギー、ヨルダン、ネパール、フィリピン、エチオピア、ガーナ、USA、ホンジュラス、エクアドル、パナマ、パプア・ニューギニア他

**「地球の仲間たち」
フォトランゲージ版**



有料
写真
テキスト別売

製作：開発教育を考える会
FAX 046(255)1867
e-mail: chikyu@group.email.ne.jp
定価：¥800(テキスト別売¥500)

世界の子どもの写真5枚(A4版)に加え、写真解説、子どものメッセージカード、読み札カードがセットになっている。全25カ国(価格は1カ国あたり)。同じ地球の仲間たちの生活を知ってもらうことをねらいとしたフォトランゲージ教材。別売りのテキストには教材の使い方と授業に役立つワークシートを掲載。

**地球家族
世界30か国のふつうの暮らし**



書籍
有料

写真提供 (株)ユニフォトプレス
問合せ先：TOTO出版
TEL 03(3402)7138
定価：¥1,893+税 発行：1994年

世界30か国の平均的な家族の持ち物と暮らしのリポート。家族の持ち物を全て自宅前に並べた家族の写真からその国に暮らす人の普通の生活が見えてくる。各国の家族の写真には詳細な一家の持ち物や家族のプロフィールやインタビューが掲載され、読み物としても奥が深い。

続 地球家族
世界20か国の女性のくらし



書籍
有料

写真提供 (株)ユニフォトプレス

問合せ先: TOTO出版
TEL 03(3402)7138
定価: ¥2,476+税 発行: 1997年
地球家族-世界30か国のふつうの暮らしの続編。世界20か国の女性の日常(家事、子ども、夫、希望、夢、他)についてインタビュー。前作同様、豊富な写真と女性のプロフィールも掲載されている。単なる暮らしの紹介のみならず、生き立ち、悩みを通して一人の人間の姿が見えてくる。巻末には、各国の基本データが掲載されており登場人物の暮らす国の状況も同時に知ることが出来る。

国際理解
重要用語300の基礎知識



書籍
有料

問合せ先: 明治図書
TEL 03(3946)3151
定価: ¥2,660+税 発行: 2000年

国際理解教育を広い定義にとらえ、かなり幅広い分野から重要養護を選び解説した用語集。国際理解教育、平和教育、環境教育、開発教育など12項目に分け、関係の深い用語を項目ごとに掲載するなど工夫されている。

世界の子もたち
-NGOの現場から-



書籍
有料

問合せ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥1,000+税 発行: 2002年
世界6カ国で厳しい状況にある子どもたちを題材としたアクティビティー集。各国ごとの情報、子どもにまつわる物語とともに参加型学習の例が掲載されている。子供たちが直面している厳しい状況のみならず、豊かな文化やエネルギーにも目が向くように工夫されている。小学生以上向き。

多文化子どもの歌集
Ciranda, Cirandinha
-輪になろう-



CD-ROM
書籍
有料

問合せ先: (特活)多文化共生センター
TEL 06(4395)1377
定価: CD ¥2,500
ブックレット(歌詞) ¥800
CD・ブックレットセット ¥3,000

中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語の童謡(各3曲)を集めたCDとブックレット。CDは歌のみ(歌詞カードなし)。曲はいずれも各言語圏でよく歌われている簡単なもの。ブックレットには歌詞と日本語訳の他、歌に合わせて遊びや踊りがあるものについては、その説明もついている。歌詞にはカタカナで読み仮名が振ってあるので子どもにも読みやすい。音楽の授業は勿論、総合的な学習の時間にも使える。小学校向き。

協力隊体験を伝えよう2
~生きる力を育てるワークショップ集~



冊子
有料

問合せ先: 青年海外協力協会
TEL 03(3406)9151
定価: ¥1,000
発行: 2002年

青年海外協力隊員経験者による授業の実践報告集。派遣国で経験した現地の文化、生活、人々のエネルギーをおして日本の子どもたちに「生きる力」を伝える実践例が掲載されている。

ODA開発教育キット
世界の子もたちの笑顔のために



貸出用
ビデオ
副読本

問合せ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

社会・総合的な学習の時間に対応したビデオ教材。小学校5年生向け。ベトナム、カンボジアを例としたODAが解説されている。

国際理解教育



書籍
有料

問合せ先: 清水書院
TEL 03(3260)5261
定価: ¥1,800+税 発行: 1999年
相互理解、異文化理解、多様性、意志伝達、国際協力、自然環境などについて「総合的な学習の時間」で実際に行なわれた国際理解についての授業の実践事例集。

地球市民教育のすすめかた
ワールド・スタディーズ・ワークブック



書籍
有料

問合せ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥2,500+税 発行: 1997年
参加型学習の実践事例集。「森林環境」「性別にまつわる問題」「食べ物」などテーマごとにアクティビティーを紹介。また、地球市民教育を学校で行う際の評価の方法も記載されている。

国際協力用語集 第3版



書籍
有料

問合せ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価: ¥3,000+税

国際協力に携わる人から初心者まで幅広く知識を得ることができる用語辞典(約1,000語を収録)。

地球買いモノ白書



書籍
有料

問合せ先: コモンズ
TEL 03(5386)6972
定価: ¥1,300+税 発行: 2003年
身近な商品は、どこで作られ、どうやって私たちの生活にやってくるのか。モノを作る原料を探ると、世界の環境や生産者の境遇が見えてくる。消費社会に暮らす私達の生活を見つめ直すきっかけにもなる。総合学習に最適な一冊。

参考書目録

**国際理解ハンドブック
中国と出会う**



有料
書籍

問合せ先: 国土社
TEL 03 (5348) 3710
定価: ¥1,600 + 税 発行: 2000年
中国語で話して歌って、作って遊ぶ。作って食べたり、物語を読む。中国の文化を体験できる手引書。国際理解の入り口として最適。中国理解のための基本データや北京の小学生の一日、在日中国人の物語も掲載。

**国際理解ハンドブック
フィリピンと出会う**



有料
書籍

問合せ先: 国土社
TEL 03 (5348) 3710
定価: ¥1,600 + 税 発行: 2002年
フィリピンの料理、遊び、歌を楽しいイラストと文章で紹介。フィリピンと日本の関わりや在日フィリピン人の現状など読み物としても充実している。

国際協力ガイド2006



有料
冊子

問合せ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03 (3584) 2191
定価: ¥1,200 + 税
学生でもすぐに取り組めるボランティア情報が満載。進学にも役立つ国際協力の情報を集めたガイドブック

**国際理解ハンドブック
韓国・朝鮮と出会う**

有料
書籍

問合せ先: 国土社
TEL 03 (5348) 3710
定価: ¥1,600 + 税 発行: 1999年
食べ物や工作、言葉・音楽・遊びなどを絵と文で楽しく紹介。体験を通して異文化にふれ、違いを認め合う国際理解のための本。

**国際理解ハンドブック
ブラジルと出会う**

有料
書籍

問合せ先: 国土社
TEL 03 (5348) 3710
定価: ¥1,600 + 税 発行: 2000年
地球の反対側にあるブラジルと日本の間には、どんなつながりがあるのでしょうか。料理や歌、言葉や遊びなどを体験しながら学ぶ、国際理解のための本。

クロスロード



有料
定期
刊行物

問合せ先: 協力隊を育てる会
TEL 03 (3402) 2153
定価: ¥310
「顔の見える援助」の最前線で活躍している青年海外協力隊の活動をはじめボランティアの生の声を伝える雑誌 (月刊)。

国際協力



有料
定期
刊行物

問合せ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03 (3584) 2191
定価: ¥6,000 (年間購読)
途上国の現状やJICA事業に関する様々な情報を取り扱ったJICAの月間広報誌。

JICAフロンティア



有料
定期
刊行物

問合せ先: 国際協力出版会
TEL 03 (3372) 6771
定価: ¥6,000 (年間購読)
JICA事業を幅広く紹介している広報誌。国内での国際協力活動紹介など掲載。読みやすく国際協力の現状を解説。

国際協力プラザ

以下のページからアクセス・閲覧が可能
<http://www.aplc.or.jp/plaza/>
問合せ先: 国際協力プラザ事務局
(財)国際協力推進協会内
TEL 03 (3947) 0491
政府開発援助 (ODA) を中心とした国際協力に関する総合的な月間情報誌。

大きな地球のテーブルで



冊子
有料

問合せ先: (社)国際食糧農業協会 (FAO協会)
TEL 03 (3297) 5621
定価: ¥525
国際協力を食糧問題から解説した一冊。世界でどのくらいの人々が飢えているのか、開発途上国ではなぜ食糧が不足するのか、世界が食糧不足になったら日本はどうなるかなどを項目別に判りやすく解説。世界と私たちの生活との関連を考えるきっかけとして各項目ごとに課題が設定されており、この一冊で食糧問題をあらゆる角度から学べる構成になっている。中学～高校向き。

アリンゴと日本のママ

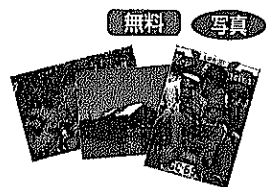


有料
冊子

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03 (3947) 0491
定価: ¥945

アフリカでの国際協力の例をモデルに、現地の人々と日本の女性の心の交流を描いたマンガ。子供たちが国際協力に興味を持つきっかけ作りに適している。

**JICAフォトランゲージ
キット**



無料
写真

問合せ先: JICA国内機関 P89参照
世界7カ国の風景、日常生活、子どもたちの写真 (5枚1セット) で構成された開発教育教材。授業で使えるアクティビティー集も付いていて、直ぐに授業に活用できる。

**JICA INFO-KIT
学校に行きたい!
～国際協力とわたしたち～**



無料
冊子

問合せ先: JICA国内機関 P89参照
豊富な写真と分かりやすい言葉で小学生向けの小冊子。国際協力に興味をもってもらう為の導入として最適。

教師海外研修バックナンバーで紹介



無料 冊子

問合せ先：JICA国内機関 P99参照
本研修に参加した教師の実践集を収めた教材集のバックナンバーです。詳しくは最寄の各国機関へお問合せ下さい。

開発教育教材

JOCAワールド・ボックス

有料貸出 物品

問合せ先：青年海外協力協会

貸出料金：¥3,000×ボックス数（送料別途）
衣類は¥2,000×点数（送料別途）

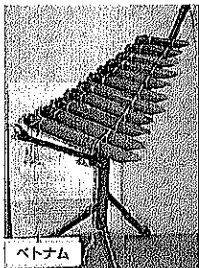
様々な国の日用品、写真、民族衣装、教科書などを実際に手にとって体験したくても、途上国の品物を手に入れるのは難しいのが現状です。「JOCAワールド・ボックス」は国別、テーマ別に民芸品や生活用品等を収集し説明書をつけた途上国理解のための教材です。インドネシア、タンザニア、中国、メキシコなど世界29カ国のBOXがあります。詳細はHPから。http://www.joca.or.jp

物品の例



ボリビア

・マンタ（ショール）やボジェーラ（スカート）などの普段着が納められています。



ベトナム

・ダン・トゥルンと呼ばれるミニチュアの竹もっさんです。分解して持ち運びできます。

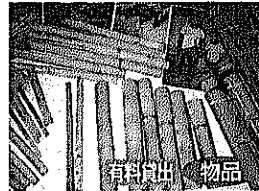
国際理解教育教材 フィリピン・ボックス



貸出料金：¥3,000

民族衣装や生活用品など40点、写真60枚、解説や授業案などの資料。アジアの国々や国際協力などの学習の導入として、またゲストの小道具として利用できる。

フィリピン・竹の楽器ボックス



貸出料金：¥3,000

山岳少数民族の伝統的な竹楽器6種、写真35枚、演奏方法ビデオ。

戦争と女性を考えるワークショップ・キット



製作：フィリピン元「慰安婦」裁判支援ネット・三多摩
貸出料金：¥3,000

世界各地で現在も続く戦争・紛争下での性暴力や平和についてジェンダーの視点に立った話し合いに。

以上3点の問合せ先：ピナツボ復興むさしのネット

TEL 0422 (34)5498

FAX 0422 (32)9372

E-mail hachinoko@green.livedoor.com

URL: http://hachinoko.id.infoseek.co.jp

全社賞状

JICAはこんなこともしています

●教師海外研修

国際理解教育および開発教育に興味のある学校の先生を対象に、開発途上国で研修をおこない、今後の授業に役立ててもらうことを目的としたプログラムです。帰国後、研修で得られた経験をもとに、それぞれの教育現場において国際理解・開発教育に関する授業を実践し、その結果を授業実践報告書として公開します。本研修は、お住まいの地域を担当するJICA国内機関で研修を実施しておりますので、直接ご相談ください。

●国際協力中学生・高校生・大学生エッセイコンテスト

全国の中学生・高校生・大学生等を対象に、開発途上国の現状について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、また、自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的として、国際協力をテーマにしたエッセイコンテストを実施しています。中学生・高校生の上位入賞者には、JICAが協力している開発途上国への研修旅行がプレゼントされます。大学生の上位入賞者には、欧州や東南アジアへの航空券がプレゼントされます。また、そのほかにも各種の賞を用意しています。

●国際協力実体験プログラム

JICA国内機関では、中学生・高校生や大学生を対象に研修員との交流、帰国した専門家や青年海外協力隊OB・OGによる講義やワークショップを行い国際協力について自ら考える機会を提供しています。詳細はお住まいの地域を担当するJICA国内機関へお問合せ下さい。

●開発教育指導者研修

主に学校で「総合的な学習の時間」を担当されている先生等を対象に、開発教育の担い手の育成を目的とした開

発教育指導者研修を実施しています。研修では、実際に参加型のワークショップを体験しながら、開発教育の手法や簡単な教材作成法等をわかりやすく紹介しています。本研修は、お住まいの地域を担当するJICA国内機関で実施しておりますので、直接ご相談ください。

●JICA国際協力出前講座（旧サーモンキャンペーン）

JICA職員、帰国専門家、青年海外協力隊OB・OG、来日中の研修員を全国各地の学校や地方自治体、国際交流団体、NGO講座などへ講師として派遣します。講師は自らの体験を元に、写真やモノを用いて楽しく、分かりやすく講義します。総合的な学習の時間にもご活用下さい。講師の派遣は、お住まいの地域を担当するJICA国内機関で実施しておりますので、直接ご相談ください。

●ピース・トーク・マラソン2003-2007

「一人ひとりにできること。一人のためにできること。」をキャッチコピーに、「平和」と「国際協力」について考えるシンポジウムを、2003年8月から2007年3月まで3年半の時間をかけて、47都道府県で1回ずつ開催しています。シンポジウムのタイトルは、「ピース・トーク・マラソン2003-2007」。プログラムは、「いま世界で起きていること」と題した現状の紹介、著名人による平和や国際協力に関するトークや、その地域で活躍する有識者によるパネルディスカッションなど。「肩肘を張らずにまずはできることから始めてみませんか」というメッセージを込めて企画されています。シンポジウムとは言っても、とてもリラックスした雰囲気の会です。皆さんもぜひ遊びに来て下さい。

詳しくはJICAホームページ（www.jica.go.jp）でご確認ください。

■ JICA はこんなことを募集しています

年 齢	20歳			30歳	40歳	50歳	60歳
	(中学校生活)	(高校生活)	(大学生)	社会人			
募集内容	中学生エッセイコンテスト	高校生エッセイコンテスト	大学生エッセイコンテスト				
				青年海外協力隊 (JOCV) (募集対象年齢 20才～39才)	シニア海外ボランティア (募集対象年齢 40才～69才)		
				日系社会青年ボランティア (募集対象年齢 20才～39才)	日系社会シニアボランティア (募集対象年齢 40才～69才)		
	(個別) 専門家 (登録可能年齢 30才～59才)						
			ジュニア専門員 (募集対象年齢 25才～35才)	国際協力専門員 (募集対象年齢 35才～50才)			
	青年招へい合宿セミナー (参加者対象年齢 20代後半～40才)						

■地域国際化協会一覧

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
北海道	(社)北方圏センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西7丁目 道庁別館12F	011-221-7840 (011-221-7845)
青森県	(財)青い森みらい創造財団国際交流課	〒030-0803 青森市安方1-1-32 水産ビル5F	017-735-2221 (017-735-2252)
岩手県	(財)岩手県国際交流協会	〒020-0025 盛岡市大沢川原2-4-20 国際交流プラザ内	019-654-8900 (019-654-8922)
宮城県	(財)宮城県国際交流協会	〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7F	022-275-5540 (022-272-5063)
秋田県	(財)秋田県国際交流協会	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館6F	018-864-1181 (018-864-0160)
山形県	(財)山形県国際交流協会	〒990-8580 山形市城南町1-16-1 霞城セントラル2F	023-646-6267 (023-646-8860)
福島県	(財)福島県国際交流協会	〒960-8103 福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2F	024-524-1315 (024-521-8308)
茨城県	(財)茨城県国際交流協会	〒310-0851 水戸市千波町後川745 県民文化センター分館2F	029-241-1611 (029-241-7611)
栃木県	(財)栃木県国際交流協会	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内	028-621-0777 (028-621-0951)
群馬県	(財)群馬県国際交流協会	〒371-0026 前橋市大手町2-1-1 群馬会館3F	027-243-7271 (027-243-7275)
埼玉県	(財)埼玉県国際交流協会	〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和地方庁舎内3階	048-833-2992 (048-833-3291)
千葉県	(財)ちば国際コンベンションビューロー	〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 W.B.G マリブイースト14階	043-297-0245 (043-297-2753)
東京都	(財)東京都国際交流委員会	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 都庁第一本庁舎26階南側 東京都生活文化局文化振興部事業推進課内	03-5320-7739 (03-5388-1327)
神奈川県	(財)神奈川県国際交流協会	〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 県立地球市民かながわプラザ1階	045-896-2626 (045-896-2945)
新潟県	(財)新潟県国際交流協会	〒950-0078 新潟市万代島5-1 万代島ビル2階	025-290-5650 (025-249-8122)
富山県	(財)とやま国際センター	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階	076-444-2500 (076-444-2600)
石川県	(財)石川県国際交流協会	〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール3階 石川県国際交流センター内	076-262-5931 (076-263-5931)
福井県	(財)福井県国際交流協会	〒910-0004 福井市宝永3-1-1	0776-28-8800 (0776-28-8818)
山梨県	(財)山梨県国際交流協会	〒400-0035 甲府市飯田2-2-3	055-228-5419 (055-228-5473)
長野県	(財)長野県国際交流推進協会	〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2 長野県庁本庁2階	026-235-7186 (026-235-4738)
岐阜県	(財)岐阜県国際交流センター	〒500-8384 岐阜市数田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館6階	058-277-1013 (058-272-8839)
静岡県	(財)静岡県国際交流協会	〒422-8067 静岡市南町14-1 水の森ビル2F	054-202-3411 (054-202-0932)
愛知県	(財)愛知県国際交流協会	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎1,2階	052-961-8746 (052-961-8045)
三重県	(財)三重県国際交流財団	〒514-0009 津市羽所町700番地4 アスト津3階	059-223-5006 (059-223-5007)
滋賀県	(財)滋賀県国際協会	〒520-0801 大津市におの浜1-1-20ピアザ淡海2階	077-526-0931 (077-510-0601)
京都府	(財)京都府国際センター	〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下る 東塩小路町901番地京都駅ビル9階	075-342-5000 (075-342-5050)
大阪府	(財)大阪府国際交流財団	〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1 りんくうゲートタワービル17階	0724-60-2371 (0724-60-2377)
兵庫県	(財)兵庫県国際交流協会	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センタービル2階	078-230-3260 (078-230-3280)
奈良県	(財)なら・シルクロード博記念 国際交流財団	〒630-8215 奈良市東向中町28 奈良近鉄駅ビル6階	0742-27-2436 (0742-27-2434)
和歌山県	(財)和歌山県国際交流協会	〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8階	073-435-5240 (073-435-5243)

和歌山県

問い合わせ先 独立行政法人国際協力機構（JICA）国内機関一覧

JICA札幌

所管地区：道央・道北・道南

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25

Tel：(011) 866-8333 (代)

Fax：(011) 866-8382

E-mail: jicasic@jica.go.jp

JICA八王子

所管地区：山梨県及び東京都23区以外の地域

〒192-0043 東京都八王子市暁町2-31-2

Tel：(0426) 26-5411 (代)

Fax：(0426) 26-9954

E-mail: jicahaic@jica.go.jp

JICA帯広

所管地区：道東

〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2

Tel：(0155) 35-1210 (代)

Fax：(0155) 36-2582

E-mail: jicaobic@jica.go.jp

JICA横浜

所管地区：神奈川県

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1

Tel：(045) 663-3251 (代)

Fax：(045) 663-3265

E-mail: jicayic@jica.go.jp

JICA 東北

所管地区：青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル15階

Tel：(022) 223-5151 (代)

Fax：(022) 227-3090

E-mail: jicathic@jica.go.jp

JICA駒ヶ根

所管地区：長野県

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15

Tel：(0265) 82-6151 (代)

Fax：(0265) 82-5336

E-mail: kjvtpr@jica.go.jp

JICA二本松

所管地区：福島県

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2

Tel：(0243) 24-3200 (代)

Fax：(0243) 24-3214

E-mail: jicanjv@jica.go.jp

JICA北陸

所管地区：富山県・石川県・福井県

〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1

金沢パークビル3F

Tel：(076) 233-5931 (代)

Fax：(076) 233-5959

E-mail: jicahric@jica.go.jp

JICA筑波

所管地区：茨城県

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6

Tel：(029) 838-1111 (代)

Fax：(029) 838-1119

E-mail: jicatbic@jica.go.jp

JICA中部

所管地区：静岡県・岐阜県・愛知県・三重県

〒465-0094 愛知県名古屋市中区名東区亀の井2-73

Tel：(052) 702-1391 (代)

Fax：(052) 702-1397

E-mail: jicacbic@jica.go.jp

JICA東京

所管地区：栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都23区及び新潟県

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5

Tel：(03) 3485-7051 (代)

Fax：(03) 3485-7904

E-mail: jicatic@jica.go.jp

JICA大阪

所管地区：滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県

〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1

Tel：(072) 641-6900 (代)

Fax：(072) 641-6910

E-mail: jicaosic@jica.go.jp



JICA兵庫

所管地区：兵庫県

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

Tel：(078) 261-0341 (代)

Fax：(078) 261-0342

E-mail: jicahic@jica.go.jp

JICA中国

所管地区：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1

Tel：(082) 421-6300 (代)

Fax：(082) 420-8082

E-mail: jicacic@jica.go.jp

JICA四国

所管地区：徳島県・香川県・愛媛県・高知県

〒760-0050 香川県高松市亀井町5-1

百十四ビル13階

Tel：(087) 833-0901 (代)

Fax：(087) 837-0747

E-mail: jicaskic@jica.go.jp

JICA九州

所管地区：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・
宮崎県・鹿児島県

〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1

Tel：(093) 671-6311 (代)

Fax：(093) 663-1350

E-mail: jicakic@jica.go.jp

JICA沖縄

所管地区：沖縄県

〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1

Tel：(098) 876-6000 (代)

Fax：(098) 876-6014

E-mail: jicaaic@jica.go.jp

以上の最寄りの国内機関にお気軽にお問い合わせ下さい。

総合的な学習の時間・選択教科に役立つ国際理解教育の手引き
「教室から世界へ 世界から教室へ」
平成15年度 中学校教師海外研修に参加して

平成16年12月発行

発行者 独立行政法人 国際協力機構

〒151-8558

東京都渋谷区代々木2丁目1番1号

新宿マインズタワー7階

TEL 03-5352-5628 FAX 03-5352-5018

URL <http://www.jica.go.jp/>

主催：独立行政法人国際協力機構

後援：外務省 文部科学省

都道府県教育委員会(北海道 福島県 茨城県 富山県 石川県 福井県 栃木県 群馬県 埼玉県
千葉県 新潟県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府
兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県
高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県)
政令指定都市教育委員会(札幌市 千葉市 名古屋市 京都市 大阪市 神戸市 広島市 福岡市
北九州市)

